

9・24なくそテ原発柏崎大集会の成功を力に 柏崎刈羽原発再稼働ストップを！



柏崎市内をパレードし「なくそテ原発・再稼働ストップ」をアピールする中越の人々



1, 4年ぶりに一堂に会した
0000人超の参加者

コロナ禍で各地域での分散集会在が余儀なくされてきた「なくそテ原発柏崎大集会」。岸田政権が原発最大限活用への大転換を進める中、今年は4年ぶりとなる柏崎市文化会館アルフォーレに、新潟をはじめ長野・群馬などから千人を超える人たちが集い、会場は熱気に包まれました。

「あまりに愚かな日本の原子力政策」と題して、元京都大学原子炉実験所助教の小出裕章さんが講演。原発ゼロでも電気は足りる。発電コストが高く、原発などやればますます電気代が高くなる。原発は機械であり経年劣化するから、60年超運転など論外。燃料のウランはほんのわずかしかなく、プルトニウムを作り出し燃料にするとした核燃料サイクルは破綻している。すでに日本の原発が生み出した放射性廃棄物の量は、広島原爆120万発分にも達する。処分方法も決まっていない核のゴミは将来世代の重大な重荷になる、と小出さんは語り原発を即刻

全廃することこそ必要と訴えました。新潟国際情報大学教授の佐々木寛さんが「新潟県の再稼働問題の状況」について報告。2016年の県知事選で53.05%の新潟県民が再稼働反対の審判を下し、県民投票は終わっている。再び再稼働への動きが強まっている中、花角知事は新潟県の宝である「三つの検証」を変質させた。いま歴史的な試みとしての「原発市民検証委員会」が始動。正念場を迎え私たち市民の力が求められていると語りかけました。

「閉会にあたり、改めて東京電力柏崎刈羽原発の再稼働を許さず、廃炉実現に向けて一層大きく運動を進めていくことを、ここに宣言いたします。」で締めくくられた集会宣言を採択して閉会。その後パレードで市民に呼びかけました。帰りのバスの中で「原点に戻って大切なことを学んだ」など、参加者の意見交流が活発に行われました。

原発ゼロ長岡市民ネット結成12周年

原発再稼働を考える市民の集いのご案内

☆とき 11月18日(土) 午後2時～4時

☆ところ 長岡市立中央図書館 講堂

二人の方のお話を聴き、いま柏崎刈羽原発再稼働にどう向き合うか、ご一緒に考えませんか。(詳しくは同封の案内チラシをご覧ください)



<署名のお願い>

「岸田政権の新・原発推進政策の撤回を求める署名」は12月末までにご提出を。

11月の「再稼働NO! アオーレ前11日行動」は11月11日(土)12時～12時半です。ご参加を！

原発ゼロ長岡市民ネットニュース

第139号 2023年10月16日発行

連絡先

広井洋子 長岡市寿 2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870
佐藤 090-4925-3707